

会 議 録

会 議 名		第1回あんばんい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議	
事 務 局 (担当課)		政策調整課	
開 催 日 時		平成30年7月11日(水) 18時30分から20時30分	
開 催 場 所		川西市役所 4階庁議室	
出 席 者	委 員	新川達郎、藤本真里、善野誠、西尾理恵、山永克彦、中島智彦、大澤茂男、加門文男、須磨正尚、阪辻洋美、前田文雄、呉田利之、菅原康雄、小田秀平	
	そ の 他		
	事 務 局	松木部長、作田副部長、的場課長、大村課長補佐、八尾主査	
傍聴の可否		可	傍聴者数 0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		1 開会 2 新たな委員の紹介 3 議事 (1)平成29年度あんばんい ええまち かわにし創生総合戦略実施状況報告書(案)について (2)地方創生推進交付金等を活用した事業の実施状況報告について (3)その他 4 閉会	
会 議 結 課			

審議経過

発言者	発言内容等
事務局	<p>ご案内しておりました時間がまいりましたので、「平成 30 年度第 1 回あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議」を開会させていただきます。</p> <p>皆様におかれましては、本日はご多忙にもかかわらず、お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会をさせていただきます、川西市総合政策部政策調整課の大村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、お手元にお配りしている資料を確認させていただきます。</p> <p>本日の会議次第、委員名簿、座席表、あわせて、事前にお手元に送付をさせていただきました資料といたしまして、資料 1、あんばい ええまち かわにし創生総合戦略実施状況報告書(案)、資料 2、地方創生推進交付金等を活用した事業の実施状況報告、追加資料として先ほど配布させていただきました資料 2 - 1、資料 3、あんばい ええまち かわにし創生総合戦略の KPI 実績状況、また、本日、ご持参をお願いしておりました「あんばい ええまち かわにし創生人口ビジョン・総合戦略」の冊子でございます。</p> <p>さて、本日は、総合戦略の進行管理ということで、29 年度に取り組みました内容に対する効果検証をお願いするもので、実施状況報告書(案)に掲載しております内容を踏まえ、第三者の立場からご意見をいただきたいと考えております。また、併せまして、昨年同様、交付金活用事業に対する評価についてもお願いしたいと存じます。</p> <p>なお、いただいたご意見をコメントとして整理をし、報告書に掲載をすることとしておりますが、先にご案内をさせていただきましたとおり、会長と文案を調整した上で、委員の皆様には文書送付により確認をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>最後に、当会議は、「川西市参画と協働のまちづくり推進条例」第 10 条第 3 項の規定に基づきまして、公開となっておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>では次に、委員のご紹介をさせていただきたいと存じますが、時間の関係もございまして、異動等により新たに委員になられた方のみご紹介をさせていただきます。</p> <p>三井住友銀行 阪辻様でございます。伊丹公共職業安定所 前田様でございます。新たな委員のご紹介は以上でございます。なお、ご就任いただきましたお二方のお手元には委嘱状を交付させていただいておりますのでご確認をお願いします。</p> <p>それでは、これよりの議事の進行は、新川会長にお願いいたします。 会長よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>改めまして、皆さんこんばんは。限られた時間でございますが、しっかりとご議論いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それではさっそくですが、あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議を行いたいと思います。</p> <p>まず平成 29 年度あんばい ええまち かわにし創生総合戦略実施状況報告書(案)につきましてご審議をいただきたいと思います。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>まずは事務局からご説明をお願いします。</p> <p>それでは、議題1「平成 29 年度あんばい ええまち かわにし創生総合戦略実施状況報告書(案)」について、お手元の資料1に沿ってご説明させていただきたいと思います。</p> <p>資料1の4ページをお開きください。</p> <p>先ほど申しあげましたとおり、本日は、総合戦略の進行管理ということで、29年度に取り組みました内容に対する効果検証をお願いするもので、実施状況報告書(案)に掲載しております内容を踏まえ、第三者の立場からご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>事前に資料をお配りさせていただき、ご案内させていただいておりましたとおり、時間の都合もございますので、各施策の実施状況等のご説明は省略させていただきますが、資料1の構成について、簡単にご説明させていただきます。</p> <p>まず、資料1では、4つの基本目標、17の施策ごとに平成29年度の各取組みの実施状況を記載しております。</p> <p>ご覧いただいております凡例にございますように、具体的な施策の取組状況として、基本目標を達成するために必要な施策とその施策の具体的な展開について記載しております。</p> <p>また、その下の【平成29年度の主な取組内容及び成果】の欄には、具体的施策の展開に向けて平成29年度に取り組んだ内容及び成果を記載しております。</p> <p>KPIいわゆる重要業績評価指標の欄には、施策ごとの指標とその向かうべき方向性、戦略策定時の現状値、計画終了年度における目標値を掲げ、その横に平成27年度から29年度の実績値を記載しております。</p> <p>なお、実績値は、平成30年4月時点で把握できている数値を記載しており、数値が未把握の場合は「バー」としております。</p> <p>【今後の課題及び方向性】の欄には、具体的施策の展開にあって、今後求められる課題と方向性を記載しており、印の横に今後の課題を、その下の で、方向性を記載しております。</p> <p>次に、一つ前のページにお戻りいただき、3ページをご覧ください。</p> <p>ただいまご説明いたしましたように施策ごとに実施状況等をまとめておりますが、本日いただきましたご意見等は、基本目標ごとに推進会議のコメントとしてとりまとめ、ご覧いただいておりますページの「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議コメント」欄に記載いたします。</p> <p>なお、資料3はただいまご説明いたしました、総合戦略において掲げております数値目標や重要業績評価指標、いわゆるKPIを一覧に取りまとめたもので参考として、お配りさせていただいております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。あんばい ええまち かわにし創生総合戦略、平成29年度の実施状況報告書についてご説明いただきました。</p> <p>あらかじめお手元にお届けさせていただいていたかと思います。この内容につきまして、ご意見など伺えればと思います。</p> <p>また、わかりにくい点もあろうかと思っておりますのでご質問も併せていただければと思います。</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>公共施設マネジメントの強化というところで、公共施設の延床面積について現状値を下げるとありますが、これだけを読むと公共施設の効率的な運営を重視して統廃合を進めるといように感じてしまいます。何を統廃合するにしても方針というか、ここでいうところの住みよさを実感できるまちをめざす時に、どういう公共施設の運営をめざすのかということは、挙げられている「公共施設等総合管理計画」の中でどのように書かれているのでしょうか。</p>
事務局	<p>目標値については単に機械的にやっているわけではありません。この中についてまず利用度、維持管理費、そういったものを第一段階でチェックし、その後に機能的に集約する必要があるのか廃止するのかを見て最後に地域性など総合的に判断して廃止・存続するもの、機能を集約するものを含めて進めていくという計画になっています。当然市民生活にとって一番なことを考えながら進めていくものです。</p>
委員	<p>地元組織などを作っておられるので、そういうところとの交渉や調整をしつつ、利用度が低くてもそこが地域にとってこれから活用しないといけない施設であるというような位置づけもあると思います。そういう地域の将来や意向をくみ取ってご配慮いただければと思います。</p>
委員	<p>10 ページの川西インターチェンジの関係で具体的施策の展開としては弱いと感じます。IC の出入りの流れからすると、この近辺のいろんな展開があるのではないのでしょうか。ここでは「おでかけマップ」がありますが、他で言うと道の駅のような展開があります。今後魅力的なものにするためにいろいろ展開していただけたらと思います。</p>
会長	<p>例えば施策の 4 で言うと具体的な展開として「魅力発信拠点の整備に向けて調整」というような項目も上がっています。その辺り、進捗があれば説明を加えていただけますでしょうか。</p>
事務局	<p>魅力発信については何点か取組みがあります。川西市には西畦野地区という場所があり、その展開を考えているがそこでやろうという業者さんがおられても、具体性を持った展開がなかなかできていないというのが実態です。今後、例えば黒川地区等についてはここに書いてあるように古民家の活用や、11 ページにあるようなダリヤ園とキャンプ場をうまく魅せていく方法や、里山センターというものの整備を考えています。その辺りを総合的に考えて、観光客も引き込めるような展開をしたいと考えています。</p>
委員	<p>13 ページについて、「地震や火災などの災害に対する備えができている市民の割合」がありますが、平成 26 年の 34.0 が平成 29 年には 29.4 ということで下がっているのが気になっています。目標値が 38.4 ということであと 2 年の間に 9 ポイントくらい挙げていかないとまずいことになっていると思います。まずは平成 26 年から 29 年までに下がったということについての要因分析というか、なぜ下がったのかについて、どういうお考えなのか。また 9 ポイント上げていくための今後の施策</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>展開はこちらに書いていただいていることで充分なのか見通しについてお聞かせください。</p> <p>落ちてきた原因というのは実際解析できていません。自主防災等々で出前講座の中で備えのこと、自助・共助・公助という話をしています。その中で数字が伸びてこないというのが現状で、どういう手法が良いのか悩んでいるところではあります。今回、地震や災害において自分の身を守る方法等、意識が高まったと思うのでその辺りを踏まえてこちらでも出前講座で説明したいと考えています。</p>
会長	<p>なかなか決定打がなさそうですね。</p>
事務局	<p>分析ができておらず申し訳ございません。</p>
委員	<p>たぶん意識レベルが上がっていくともっと備えなければ十分ではないということで判断レベルが上がってしまった結果という要素もあると思います。だとしたら、それに対して行政として防災グッズのようなものを提供はできないと思いますが、ここまですればここまでは安全だというような情報提供というのをさらに工夫することが可能なのかと思います。さらに検討していただけたらと思います。</p>
委員	<p>今後の検討として、この評価の中に「幸せ実感指標」というのがことごとく、例えば基本目標 1 だと「住みよいまちだと思ふ市民の割合」でこういのは市民としてはこれが 8 割だから住みよいかと思ってしまいます。実感を伴わない指標、幸せ実感というこの指標に市民のアンケートの割合を使うしかないというところは共通するとは思いますが。</p> <p>最近、官能都市という新しい住みよさを評価する軸がでてきました。それは一般人がいいねと思えるような指標がでてきます。一度参考にさせていただきたいと思います。例えば「夕方 4 時から飲める場所がある」とか、他にもたくさんあります。もっと実感できる「公園でデートができる」とか。そういうものを川西らしく、「市内でおしゃれな洋服が買える」とか、もう少し市民感覚で幸せだなと思えるような指標を挙げて、川西の場合十分達成できる要素がたくさんあると思いますので、そういう表現の方がいい指標になると思います。次回の検討課題としていただければと思います。</p>
委員	<p>19 ページ「こども子育て支援」という項目の「子育て支援が充実している」と思う市民の割合は平成 26 年が 29.7 に対して平成 29 年が 32.7 ということで上昇しています。これは良い傾向が出ていると思います。一方で「保育所の入所待機児童数」が 31 から 39 に増えているという現状があるとなんとなく矛盾を感じてしまいます。待機児童数というのは、例えば 26 年の 31 名が解消できたから 0 になってこれで大丈夫と単純なことは言えなくて、さらにそれを期待して「うちも預けようか」「働きに出ようか」という女性が新たに出てくるということで多少イタチごっここの部分があると思います。ですので、目標値が 0 でもけっこうだと思いますが、さらに受け皿を広げていくような長期的な展望も必要かと思います。残念ながら 39 人に増えている現状を踏まえたうえで 0 ではなくマイナス 10 くらいの感覚をもってやっていくべきかと思います。このあたりのさらなる施策の充実ということも考えて</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>いただきたいと思います。</p> <p>待機児童の解消について皆様ご承知のとおり、都市部の自治体の共通した大きな課題と考えています。私どもでは、こども子育て計画という計画を立て、なんとか待機児童を0にしようと、民間保育所、こども園の新設整備等を中心に受け入れ定員の増加を図ってきました。例えば、昨年と今年の4月では77人程度の受け入れ枠拡大を図りました。この指標にはありませんが、待機児童は36人ということで3人しか減りませんでした。先ほどご指摘のあったとおり保育に関わる施設を作れば作るほど需要が増えるという状況もあります。そういったことも踏まえて今後とも新たな施設整備をし、定員受け入れ枠の拡大を図りたいと思います。ぜひ皆さんがご希望される時にはご希望される施設に入っていただけのような状況を作りあげていくようにしていきたいと思います。</p>
委員	<p>21ページの「教育環境の充実」について、KPIのところ、食育、食べることの大切さというのをできれば入れていただきたいと思います。とても大事なことで課題として考えてもらえたらありがたいと思います。</p>
事務局	<p>ご指摘いただいた食育について、重要な視点だと考えております。</p> <p>小学校給食については週2日の米飯給食で地産地消ということでかなり力を入れてやっています。一方で中学校給食が現在実現に至っておらず、そこを進めていきたいと考えています。</p>
委員	<p>里山体験学習が入っていますが、できたら農産物の収穫体験などをいれていただくと良いと思っているので検討をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>14ページの住環境の維持について、「公園を満足して利用している市民の割合」が12.3パーセント。これはあまりにも低いと思います。</p> <p>こちらの具体例の中で遊具の改良・更新、手すりの設置など書いていてこれはありがたいが、遊具があるからといって公園に来るとは限らないので。公園には必ず看板があって「～するな」とあるが、そうではなく「～しましょう」という肯定的なかたちでやればもう少し人が集まって来るように思います。</p> <p>公園があって子どもが遊んでいても「子どもの声がうるさい」「暑いから危ない」というのがあります。もう少し自由に遊べるような広場が必要だと思います。</p> <p>公園に設備を付けたから遊びなさいというだけでいいのかということを検討していかないといけないと思います。</p>
会長	<p>公園の魅力化をどうするかということで、本質的な疑問をいただきましたが、事務局で何かあればお願いします。</p>
事務局	<p>公園を日々管理している立場としてご指摘のあった内容については認識しています。これまで公園づくりについて、ほとんどの公園は市の思いだけで作ってできあがった後に初めて市民の方に使っていただくという経過がありました。市民は使う側、市役所は管理する側で、管理瑕疵を問われないように、ますますボール遊びを禁止というようなことに陥っています。公園は市内に約300か所ありそれらが</p>

発言者	発言内容等
	老朽化を迎えており、更新が必要な時期を迎えています。これからは地域ごとのニーズに合わせ、特色にあった公園をめざせないかと今年度から仕組みづくりを検討していきたいと思っています。
会長	公園はいろんな規制の類があって、法律上はほとんどないのであとは市の方でどう考えるかになると思います。よい使い方ができるよう地域の方々としっかりと組み立てていただければと思います。
委員	28 ページの「新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざす」について、数値目標で「市内事業所数」「市内就業率」とありますが、市内事業所数の実績値がまだ出てきていないようだが、これは把握しにくいのでしょうか。
事務局	現段階では把握できていない状況です。調査結果で分かり次第、数字を入れていきたいと考えています。
会長	毎年は調査していないようで、後に出てくると思います。
委員	30 ページの「有効求人倍率」について、目標値が 0.7 倍で実績を見ると 28 年以降 0.7 を上まわって推移しているが、どのようにお考えでしょうか。
事務局	景気が少し回復して、人手不足というような背景もあり、有効求人倍率が上がっていると思います。26 年の段階では 31 年に 0.7 をめざすとなっているが、有効求人倍率が上がるのがいいのか、就業者数が自分の思っているところに対して働けるとかそういうことをめざしていくというのもひとつの指標だと思っているのでそれが本当にできているかというのを探していきたいと考えています。
会長	7 ページの団地再生についてです。団地再生のための連携できるネットワークの構築のところですが、具体的にどういうところでどのようなネットワークが作られつつあるのか、状況が分かれば教えていただきたいと思います。
事務局	連携のことについては既に 5 月に空き家相談センターと宅建協会と協定を結んでいます。空き家相談センターというのは NPO 法人でやっています、空き家の法律相談をメインにやられています、宅建協会は空き家の流通促進を図っています。
委員	関連ですが、具体施策 の親元近居助成制度というのはどういうものにあたるのでしょうか。
事務局	親元近居助成制度というのは、条件の一部としては川西市に親がいて親が 10 年以上住んでいるという方を、市内外から川西市に住宅を買われた方に定住促進目的として登記費用を最大 20 万円助成するというものです。
委員	それはホームページに掲載されているのでしょうか。

発言者	発言内容等
事務局	もちろんホームページにも掲載しています。スーモや他の媒体にもお願いして掲載しています。
委員	というのも、我々の地区でそういうものが増えてきています。いいことだと思うので川西市としてもっと力を入れていただきたいと思います。広めていただければと。
事務局	去年は子育て世帯に限定していたが、今年から子供がおらずとも若者世代も対象にしています。
会長	8 ページの交通体系について、公共交通はどうしても啓蒙型の活動にならざるをえないと思いますが、その中でも自転車のネットワークづくりというのが多少なりとも市としても進められる可能性があるかと思っています。この自転車の路線については何か進捗を具体的にあげることがあれば教えていただきたいと思います。
事務局	29 年度に自転車ネットワーク計画を策定いたしました。そこで、市内において現在自転車の通行空間を確保できているのが、新名神高速道路へのアクセス道路となる川西インター線において、県の事業で整備しています。順次、市においてもネットワーク計画に基づいて整備を進めてまいりたいと考えています。
委員	<p>外から見ていると川西市は元気だなというイメージがあります。大学生がまちづくりに入って住民の方々と一緒にやっています。阪神間でも要介護者支援で素敵なアイデアを出していたのは川西市でした。</p> <p>団地で結束して自治会もまとめています。これから地域で子育て支援だったり高齢者ケアだったり他分野にわたるが、自立して何かできるようになる力があると思います。既に団地再生に向けた地域の主体的かつ持続可能な取り組みの実施というのがあがっているので、言わなくともわかっているかもしれないですが、川西市のひとつのパワーだと思います。何かあった時に団地で結束していればなんとかなると。</p> <p>怖いのは道路が割と細いので 1 本切れたら団地ごと孤立してしまうような危険性もはらんでいるのかなと思った時に、団地がある程度防災・子育て支援・高齢者ケアとこれからの重大課題を解決できる力とか資金力とか仕組みとか、もしできればいいと思います。</p>
委員	今あったように出入口は 2 か所しかない団地もあります。災害があれば動けない状況になるかもしれません。先日の大雨で避難指示がでていました。やはり心配でということだったので孤立が怖いです。避難場所についても 1 か所ではなくて少しずつでいいから幼稚園とか中間のところで留まってから大きなところへ移動できるような考え方をしていかないと。ここにあるからここに避難してきてと言われてもそこまで行くのに危険を伴います。そこに要介護を連れていくというのは大変なことで、団地の中だけではできないと思います。
事務局	避難所の関係は民間にも依頼しています。地元には一時避難場所指定を設けて公園の一部で集まってから動くなど、一時的なものではあるが、その中で我々

発言者	発言内容等
委員	<p>が用意させていただいた避難所に行っていただくという方向で動いています。</p> <p>21 ページの「満足いく教育を受けられる環境が整っていると感じる市民の割合」というのが減っています。理由や改善策をどうするか。教育環境というのは子育てと関係すると思うので、減っているのが気になります。</p>
事務局	<p>教育環境は様々な視点、ハード面ソフト面でとらえられると思います。1つ要因として考えているのが中学校給食かなと考えています。平成27年に方針を発表してから立ち止まっていおり、他市におかれては中学校給食が実施されています。</p>
委員	<p>お客様の高齢化が気になっています。非常に豊かなマーケットを持ったお客様なので購買力はありますが、年々北のほうに住んでいる方は出かけるのがしんどくなっていきます。</p> <p>人口は横ばいかもしいないが、やはり川西市の魅力をアピールしていく中で10ページに主に観光や交通の便を書いてあるが、すべての方にとって魅力ある、住んでいる方に魅力あるということを加えて、誰にとっての魅力なのかということをもっと発信していくべきだと思います。住んでいる方には設備が良くなるなど住みやすさもあると思うが、やはり人口が減っていくのでは。より誰に向けての魅力なのかということを書いていただきたいと思います。もちろん子育て支援、出産支援といろいろやっておられると思うが、もっと特徴的な、市民の方に住みたいと思ってもらえるようなものが必要かと思います。</p>
事務局	<p>確かにターゲットをどこに置くかというのは非常に重点的なことであると思います。今のところと10ページの下にもあるがInstagramということで、大きくは20～30代くらいの方々をターゲットにし、カフェ・スイーツ・特産物を含めて発信しながら魅力を伝えていく。ひいては結婚し、子供ができて川西市に住まれるということにつなげていきたいと考えています。</p>
委員	<p>先ほどの話しと同じようなことになるが川西市さんに定住者が増えていただけたらと思っています。そういう中で、より多くの方に住んでいただくということで、川西市が魅力あるまちになるということが大事だと思っています。</p> <p>川西市さんの売りというかブランドのようなものはどこにあるか考えておられるのでしょうか。</p>
事務局	<p>川西市がこれまで発展してきたことを考えるとやはり住環境。人に住んでいただける魅力あるまちにするということはブランドまで行くかはわからないが大事にしたいと考えています。団地再生であるとか、住んでいただける方が子育て、教育を受けるのに良い環境を整えるとかそういうところを取り組んでいくことが川西にとってはまず大事なことで考えています。</p>
会長	<p>14、15 ページについて、住環境の整備でごみの減量ということがあがっています。ごみ収集・処分に対する満足度が上がっているが、実態として家庭から出るごみの量とかその辺りの減量化は進んでいるのでしょうか。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>まず今回の KPI でごみ収集に対する満足度について、当初はかなり下がっていました。要因は平成 28 年 5 月に大型ごみの有料化を実施したことによるものだと考えています。もちろんごみの減量化をめざしてのことですが、どうしても市民の皆様におかれましては、今まで無料で収集されていたものが有料になったということで、満足度が下がったと分析しています。実際、ごみの量については 5 月から有料化を実施したため、前月の 4 月については、とんでもない量のかけこみ排出がありました。そんなこともあって、28 年度には増えたものの、ピーク時で 27 年度のデータとしては一人あたり 948.8g とかなり増えていました。28 年度の有料化以降は減ったために 893.6g、直近の 29 年度で 843.6g ということでかなり減量化は進んでいます。また、一般廃棄物処理基本計画を立てていて、計画が 27 年度で 890.7g、28 年度で 881.2g、29 年度で 871.9g となっており、それらを下回る減量効果がでています。</p>
会長	<p>23 ページの女性が働きやすい環境というところで、指標として川西市役所の女性職員の割合があり既に目標値を達成しています。全体としてみれば、目標達成していますが、管理職に占める割合としてはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>全体としては目標を達成し、徐々に女性職員は増えていっています。数字としてここには出ていないが、過去、割合的に職員数、採用数ともに男性が高かったこともあり、実態として管理職に占める女性の割合は決して高くない状況です。今後はそういった部分を意識して人事担当と連携を取りながら取り組みたいと考えています。</p>
委員	<p>今、会長が指摘された点は、私も気になっており、この部屋を見渡しても女性の職員はいらっしやらないようで、気になります。質問としては、この職員の割合とは、正規職員の数値ということでしょうか。非正規職員を含むものでしょうか。</p>
事務局	<p>こちらの KPI に示している数値は、正規職員の数値となっています。</p>
委員	<p>同じ行政だからという訳ではないですが、ハローワークの方から見て、平成 31 年度までの計画については、とても頑張っておられると感じます。川西市さんと一緒に仕事をさせてもらっているのも、どれだけわかっておられるかということで。ハローワーク伊丹の所長をさせていただくまでに、3 つくらしいの所長をさせていただいており、それぞれに一体的事業として仕事サポートセンターがありますが、川西市はとても成績が良いです。丹波市、神戸市、宝塚市、西宮市とありますが、川西市の仕事サポートセンターは職員数に対して就職者数を 1,000 人上げたり非常に頑張っておられました。今回は伊丹の所長となって、他市を励ます立場になっています。それぐらいすごい就職数を上げています。ただ、求人倍率は、5 月末が直近で、0.72 です。伊丹は川西市、伊丹市、猪名川町が管轄ですが、伊丹だけ求人倍率が低いです。なぜかということ、西宮のハローワークが管轄する事業所数を 100 とすると、伊丹は 50 です。一方で求職者数は、西宮を 100 とすると伊丹は 80 で、どれほど会社が少ないかということです。そのため、求人倍率は低いが多くの人が大阪方面に流れているので、人手不足は変わりません。次の計画の際には、基本目標に中小企業を中心とした事業主への、人材確保の支援を入れてい</p>

発言者	発言内容等
会長	<p>ただいて、起業するのも川西では人が集めやすいとなれば、若者も帰ってくるのではと思います。</p> <p>今お話いただいた雇用の観点は、この計画の中においても重要な項目であり、市内の事業者、特に中小・零細企業の人手不足をターゲットにした施策を考えてはどうかという意見でありました。基本目標 4 の施策 1 でも意識はされておられると思うが、改めて検討いただければと思います。</p> <p>その他無いようでしたら、平成 29 年度あんばんい ええまち かわにし創生総合戦略の実施状況報告書に関しては終わらせていただき、もう一つの議題に移らせていただきます。</p> <p>それでは、議事の二つ目、地方創生交付金等を活用した事業の実施状況報告についてである。国の交付金なので、外部からの評価をしないといけないものであり、今後より良い事業としていくためにも、色々な観点から評価をお願いしたいと思います。それでは、事務局の方から説明をよろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、議題の地方創生交付金等を活用した事業の実施状況報告について、お手元の資料 2 及び資料 2-1 に沿って、説明させていただきます。</p> <p>資料 2 をご覧ください。こちらは、先ほど議題 1 でご審議いただいた内容のうち、地方創生に関する交付金を活用した事業を抜粋して取りまとめたものです。交付金には、地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金、結婚新生活支援助成補助金及び地域少子化対策重点推進交付金があり、それぞれの実施内容を記載しています。こちらについては、交付金を活用した事業ごとに実施状況と KPI の達成状況の内容を踏まえ事務局案として、交付金活用事業が KPI の達成に有効であったかどうかについて記載していますが、第三者の視点からご意見をいただきたいと考えています。有効か有効でないかの判断のほかいただいた意見を事務局で整理し、推進会議のコメントとして報告書に記載いたします。説明は以上です。</p>
会長	<p>それでは、ただいま説明いただいた内容について、事業としては地方創生推進交付金が 3 件、地方創生拠点整備交付金が 1 件、結婚新生活支援助成補助金が 1 件、地域少子化対策重点推進交付金が 1 件ということです。それぞれについて、成果を見ていただき、ご意見をいただければと思います。</p>
委員	<p>資料 2-1 で、実績値が「0」、「0」、「-」なのに、事業の評価で効果が有効であったとするのが、違和感があります。基準値も「0」となっているのは、組織ができていないからと思いますが、できていないのに KPI が有効であったとするのは、良いのでしょうか。</p>
事務局	<p>まちづくりの事業主体は、まだできていない状況です。その過程の途中ではありますが、計画を作り、主体を作ることでもまちづくりが発展していくという光が見えてきたというところで、達成は有効であったと解釈しています。</p>
委員	<p>資料 2 の地方創生拠点整備交付金について、郷土館の収益が、基準値(平成 27 年)で 1,248,000 円となっており、旧平賀家住宅リニューアル工事と駐車場整</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>備をされたということからの実績値が 1,063,000 円ということで、来訪者が減少してしまったということによろしいかという点と、これだけの整備を行ったにも関わらず、減少してしまったことに対する分析があれば、説明をお願いします。</p> <p>平成 29 年度に郷土館はリニューアルしており、リニューアルが完成したのは、昨年の 11 月です。一方、駐車場が完成したのが、30 年 3 月で、29 年度については工事期間でありました。平成 30 年度以降については、リニューアルされ、近くに駐車場も整備されたので、催しを積極的に行い、PR を重ねてより多くの方に来ていただけるように努めていきます。</p>
委員	<p>整備されてから、やっと本格的に稼働しはじめたということでしょうか。</p>
事務局	<p>リニューアル工事期間中は閉館期間もあり、29 年度は来訪者が減少したのではないかと考えています。</p>
委員	<p>若者・女性を中心とした新たな雇用の創出と産業活性化事業において、女性の起業数が 6 件という目標ですが、実績値が 3 件というのは、川西市が提供する塾を受講した人の中で 3 件ということなのか、川西市の女性が起業した数が 3 件なんでしょうか。というのも、起業するにしても色々なパターンがあり、川西市に全く相談せずに大阪で起業していたらここには数字が上がってこないのかなと。求められているのが川西市の行うセミナーなのか。「川西女性起業塾について、様々な段階の方に興味を持っていただけるようニーズに合わせたセミナーの開催を増加する」ことからセミナーが求められているかどうかというところから、把握の仕方考えた方がよいと思います。</p>
事務局	<p>川西市の方では女性の起業を応援しており、その中でなんとなく起業したいと思っている方もいれば、しっかりと勉強して起業したいという方、様々な方に対応した塾を設けています。その中で、塾を卒業され新たに起業した方を対象にした数字です。</p>
委員	<p>市の価値観で行う塾やセミナーが本当に起業したい女性の求めていることなのか。例えば、場所の提供であったり、なんでもいいから勉強してくるならお金が出るなど、そういったことの方が求められていて、実質的に起業する方が増えるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>そういった点では、私どもは、段階的にまだ行きついていないかなと思います。他市におきましても、場所の提供を行ったうえでの起業を行っているところもありますが、そういったところまでは至っていないので、そういったところもめざして取り組んでいきたいとは担当も考えています。</p>
委員	<p>市内就業率の向上等を図るところで、指標で挙げられている若年者就労者数は、市内に就業した人数ということでしょうか。</p>
事務局	<p>先ほどの女性の起業塾と同じようなかたちになるのですが、我々は在宅就労の</p>

発言者	発言内容等
	<p>関係だとか若者の就労体験を通じた就業を案内するシステム・講座を設けており、その参加者から結果として結びついた人数を記載しています。</p>
委員	<p>ということは、市内の就業者数とあまり関係ないということでしょうか。</p>
事務局	<p>全体の中の一つのインパクトとして結びついているのではなかろうかと考えています。</p>
会長	<p>直接市内の就業率と連動はしないけれども、若者や女性の就業支援を市として行った成果としてこれだけの数の評価があったということです。</p>
委員	<p>就職と充足がありまして、川西の会社に川西に住んでいる人が就職すると、就職と充足が上がります。川西の会社に宝塚の人が来たら就職しか上がりません。川西の人が宝塚の会社に行くと充足しか上がりません。</p> <p>就業率は、川西に住んでいる人が就職できた率ですから、場所は関係ありません。川西市内の会社に就職したということではないので、就業率としては、大したものだと思います。</p>
委員	<p>婚姻件数について、平成 29 年度の実績がありませんが、結婚新生活支援補助金の設立はいつからで、件数はどのようになっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>平成 29 年度の件数の実績値はもう少し経過したら出ますが、現段階では把握できておりません。助成制度は平成 28 年度から設けまして、28 年度の実績数が 27 件、29 年度が主な取組内容及び成果に書かせていただいている 32 件となっています。</p>
会長	<p>KPI の婚姻件数が上がっていると良いですね。</p>
委員	<p>地方創生推進交付金の 1 番の項目で、今後の課題に、日本一の里山「黒川」をはじめとする観光資源等の PR を展開していくとあります。一方で先ほども、黒川観光まちづくり会社の設立に向かって、組織ができあがってきて、光明が見えたというか、方向性に何か良いものがあってというお話がありました。その辺りでいうと、黒川を観光資源として PR するまちづくり会社の方向性や方針というか、どういところをどのような人を対象に、売っていく観光まちづくりをめざしておられるのか、もし何かあれば教えていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>事業主体については、まだかっちりと決まったわけではないですが、この黒川の地区が日本一の里山といわれているわけで、そのふるさとを感じられるようなところで、そこにある農作物でありますとか、古民家、また、ダリヤ園、キャンプ場とか、それらを活用しながら、どちらかという若者をターゲットにしながら、進めたいと考えています。</p>
会長	<p>交流・転入促進事業ですが、KPI を見てみますと、交流のところにつながるような数字がかなり上がっている印象がありますが、転入者数の方は減っています。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>これは総合戦略の取組みが有効だったと見た方がいいのか、そうではないのか、悩みながら見ていたのですが、その辺りは市の方でどのように判断されたのでしょうか。</p> <p>こちらの魅力発信により、なんとか転入者の増につなげたいということで進めています。状況を把握しておりますと、特に生産年齢人口の部分の転入者が伸び悩んでいる状況分析ができております。一方で、まちの魅力を知っていないと、転入のきっかけ、一つの選択肢にならないという調査も出ていますので、こちらの交付金で書かせていただいている内容を、さらに充実させて何とか転入者の増、もしくは、横ばいぐらいには、つなげていきたいと考えています。</p>
会長	<p>魅力発信が必ずしも転入者増につながってない、その回路をどうやって作っていくのかというのが、大きな課題かなと思いつつ拝見していました。</p>
委員	<p>同じ内容ですけども、転入してこないということに関して、何が課題かなと市の方は考えていらっしゃるのでしょうか。例えば、買い物やレジャーがとても便利だ、交通のアクセス、通勤・通学が便利だ、そういうところでは、通勤・通学で川西市は非常に良いと思います。公園の整備や自然が近いということとか、医療・福祉とか、道路の整備とか、いくつかイメージ項目があると思うんですけども、どの部分がさらに良くなったら、さらに市の方に魅力を感じていただけるかと。ある程度は、こうかなと検討をつけていらっしゃると思いますけど、私自身は非常にアクセスが良い、けれども自然が近いということは、非常に魅力があるまちだと思いますし、あとは、道路もどんどん良くなっておりますので、一般的に若い方が転入されるのがためらわれるところは何なのか、どうお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>転入の方でございますが、年代別といたしますか、分析している中では、30代の方、あるいは、そのお子さんになる方の年代というのは、一定転入の方があるということなんです。それと、先ほどのブランドではないですけども、川西市のアクセスの部分であるとかを含めて、住んでいただいて、子育て、あるいは、便利な部分であるとか、そういう部分をさらに充実させることで、ターゲットを絞って進めていくことが、転入者の増につながるのではないかなと、施策を充実させたいと考えております。</p>
委員	<p>私は以前、横浜の方のニュータウンで働いていました。非常に人気で、子育てがしやすく、平均年齢も40代でした。どういうまちかというのと、とにかく子育てにめっちゃいいと、緑道があり、商業施設も非常に充実しているし、都心にも近くて、比較的郊外なので、安いということ。それを思えば、例えば、塾とか、学校関係が充実、子育てにとっては、良い学校に入りたいというママの願いもあると思いますので、そういう塾とかが充実するような、何か支援をされるとか。ママたちが住みたくなるようなより強烈的なメッセージみたいな、それに向けた補助や方向性を示していくことも含めて、新たな若い世代の転入が期待できるような、魅力の発信ができることとてうれしいなと思います。</p>
会長	<p>もっと焦点化をさせて、ターゲットをしっかり捉えて、川西市の良さをPRされて</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>はということかと思えます。</p> <p>なおのこと、この指標、これから越してこようという人がホームページを見たときに、この報告書は読まないかもしれないけど、評価の項目を見て、これは高いなど見るとしたら、良い塾があるとか、子どもを安心して遊ばせることができる公園があるとか、良い指標にできるかもしれません。これから川西どうしようと思って読んだときに、これがそんなに高いんだったら良いというような、そんな感覚でこの指標も考えたらもっと、見やすいところで魅せると、アピール力が高くなると思えます。</p>
委員	<p>資料 2-1 の黒川観光まちづくり会社の設立ということで、指標 で収益とあるんですが、この収益は、会社がどのような事業をして、どこからどういう収益が生まれるようなイメージなのかを教えていただけたらと思えます。</p>
事務局	<p>全体像として決まっているわけではないですが、公共施設での運営を委託されているような売り上げですとか、古民家の中でのカフェの売り上げですとか、そのようなものが想定できると思えます。</p>
委員	<p>地域少子化対策重点推進交付金に関して、乳幼児とのお母さんが小学校、あるいは、中学校に出かけて行って、児童生徒とふれあうというような企画なのかなと思えますが、指標が 2 つあって、乳幼児に対する関心・親しみ、命の大切さの醸成数値が小中学校それぞれで出ています。これは企画内容に依じての測定数値ということであれば、どういうことをやるとどちらでカウントして、全児童生徒数に対しての参加率ということなのか、学校の数に対して実施した学校の測定値なのかを教えていただけたらなということと、NPO さんが関わっていらっしゃるということで、差し支えなければ、法人の規模や構成員、支出の報償費の用途、例えば、謝礼のようなものが支払われているのか、年間どのくらい支払われているのか、差し支えなければ教えていただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>赤ちゃん先生プロジェクトについてですが、まず指標につきましては、実施後に生徒にアンケートを取っておりまして、その項目で良かったとかが、全体の何パーセントが答えているか出させていただいている数値です。</p> <p>NPO の規模、謝礼の金額につきましては、手元に資料が無く、はっきりしたことは申しあげられませんが、1 つの学校、例えば、中学校でしたら、1 クラスに 5 組ぐらい、お母さんと子どもを招いて、その方たちへの謝礼ということでお支払いをさせていただいています。</p>
委員	<p>ちなみに参加児童生徒が 2,634 人というのは、市内の全児童生徒数の何割ぐらいでしょうか。</p>
事務局	<p>赤ちゃん先生プロジェクトは、小学校では、各校基本は 2 年生で、中学校でも教育課程の関係で 2 年生や 3 年生で、各校 1 学年ずつ、実施しています。</p>
委員	<p>ちなみに川西市が児童生徒の総数は何名ぐらいいらっしゃるでしょうか。</p>

発言者	発言内容等
事務局	小学校が約 8,000 人、中学校が約 3,900 人です。
委員	約 12,000 人のうち、2,634 人が参加されているということですね。
事務局	そういうことになります。
会長	この赤ちゃん先生プロジェクトですが、児童生徒の反応は数値として拝見しましたが、学校の先生方のご評価で何か言っておられるところがあれば、教えていただけるとありがたいですが、いかがでしょうか。学校側として、難しいところもあるのかなとか、つい思いながら拝見していました。
事務局	初めて実施した時は、学校現場で戸惑いもありましたが、1時間、NPO の方が中心に進めてくださっていきまして、学校の先生もそれぞれのグループに入っていくという形で実施しています。教師サイドから見ますと、普段やんちゃな生徒が子どもを抱っこしてあやしたりとか、ミルクを飲ませたりとか、普段とは違う一面をすごく見ることができて、非常に教師としても、有効といたしますか、やって良かったなという感想を抱いているところです。
会長	<p>他にご意見が特に無いようでしたら、そろそろ時間も押してまいりましたので、地方創生推進交付金等を活用した事業の実施状況報告については、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、これにつきましては、後ほど事務局と私の方でこの皆様方からのご意見を踏まえた評価、意見をまとめさせていただいて、ご確認いただいて、国への報告にさせていただきたいと思っております。お願いいたします。</p> <p>ここまで、全体を通じて、何か言い忘れたこと、お気づきの点などございませんでしょうか。</p> <p>その他というところで、事務局からも何かございませんか。</p>
事務局	ございません。
会長	<p>本日いろいろとご意見をいただきました。かわにし創生総合戦略、30 年度もしっかりと進めていただきたいと思います。特に 29 年度の実績につきまして、各委員からいろいろとご意見をいただいたところでございました。また、その中では、事業の組み立て直し、あるいは、指標の選び方や考え方、そうしたところに踏み込んで、ご意見をいただいたところもございました。是非、参考にして今年度以降試みていただければと考えております。</p> <p>また、国の交付金につきましては、各事業につきまして、また改めて、ご意見をまとめたものをお示しさせていただいて、外部有識者からの意見として、報告をさせていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>長い時間、しっかりとご意見をいただいたかと思っております。本日の議事についてはすべて終了とさせていただきます。事務局にマイクをお返しいたします。</p>
事務局	<p>皆様、長時間、どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の会議はこれで終了とさせていただきます。</p>

発言者	発言内容等
	<p>なお、本日お車でお越しの方は、駐車券を配付させていただきます。それでは、本日の会議は、これで終了させていただきます。誠にありがとうございました。</p>